

## 重みの設定方法

※「公共事業評価の基本的考え方」（国交省）を参考に一つの例を下記に示す。

- 1 区民、事業者などに対し、個別指標の重要度に関するアンケートを実施する。  
 (例) 基本目標達成のためにどの項目が重要か？  
 (例) 基本目標達成のためにどの項目を重点的に取組むべきか？
- 2 回答数の多い項目から降順に付番する。

## 基本目標 4 安全安心な社会

個別指標		回答
10	大気汚染調査	150
9	河川水質調査	140
8	水生生物の生息状況	130
7	遮熱性舗装整備率	90
6	公園・児童遊園等の整備	80
5	街路樹の整備	70
4	水辺環境等の整備	30
3	区施設の緑化推進	25
2	自動車排ガス・騒音・振動調査	20
1	低騒音舗装整備率	10

- 3 各項目の重みの合計が1となるように配分する。

(計算例)

10 大気汚染調査

$$10 / (1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10) \rightarrow 10 / 55 \rightarrow 0.18$$

## 基本目標 4 安全安心な社会

個別指標		重み
10	大気汚染調査	0.18
9	河川水質調査	0.16
8	水生生物の生息状況	0.15
7	遮熱性舗装整備率	0.13
6	公園・児童遊園等の整備	0.11
5	街路樹の整備	0.09
4	水辺環境等の整備	0.07
3	区施設の緑化推進	0.05
2	自動車排ガス・騒音・振動調査	0.04
1	低騒音舗装整備率	0.02